

4年生〔総合_わたしたちのくらしと公共交通〕（札幌市立本通小学校）

札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

■実施例

実施校 札幌市立本通小学校

実施日 2013年11月20日（水） 6校時

科目 / 総合的な学習の時間

単元名 「わたしたちのくらしと公共交通」〔10時間扱い 本時6/8〕

指導者 河嶋 一貴

〔指導計画〕

1.教材にかかわって

①学習指導要領の位置づけ

〔小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編〕

●第4章指導計画の作成と内容の取扱い 指導計画の作成に当たっての配慮事項（5）

学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。

総合的な学習の時間では、目標実現のためにふさわしいと各学校が判断した学習課題を定める必要がある。本教材は、身近な公共交通に焦点化し、交通の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を取り上げる。教科の枠組みをこえた横断的・総合的な課題に迫る「交通環境学習」を通じて、広く環境意識や公共の精神を醸成することを目指す。

②モビリティ・マネジメント教育の視点から

本校の校区には、数多くのバス路線とJR白石駅がある。徒歩圏内に地下鉄南郷7丁目駅があり、公共交通に恵まれた地域といえる。

一方で、家族が公共交通をどのくらい利用しているかを調べた事前調査で、「あまり利用しない」「ほとんど利用しない」とする子どもが学級の半数近くいることが明らかになった。さらに、主な移動手段として自家用車をあげた子どもが学級の8割以上いた。

保護者対象のアンケートではなく、児童本人にたずねたこと、利用目的など詳細についてたずねていないとはいえ、この結果は、「過度なクルマ利用によるバスや鉄道の廃止」などの公共交通が抱える問題と少なからず関連していると考えられる。

そこで、本実践を通して、公共交通の良さに目を向け公共交通を選択できる子どもを育成することを目指す。また、自分の行動が未来につながるという時間軸を意識させる。そのために、次のような手立てを取る。

- ・ 日常の移動手段、交通行動について振り返る「交通日記」を書く。
- ・ 「公共交通」を身近な問題としてとらえられるように、具体的なバス路線を取り上げる。公共交通の役割に目を向けられるよう、税金で維持されているような路線を取り上げる。
- ・ 身近な事例について考えた後、札幌市全体に視野を広げる。
- ・ 過度なクルマの利用を控え、公共交通を利用することが、将来にわたって公共交通を維持することにつながることに気付くよう、効果的な資料を活用する。
- ・ 家族にも交通行動について考えることを促すような提案を子どもが考え、家族に伝える。

③資料の活用

「札幌らしい交通環境学習フォーラム」で使用したテキストと、児童の実態を考慮し、ねらいに迫るための資料を教師が作成し、配付して使用する。

2. 単元にかかわって

●単元の目標

- ・身近な公共交通機関であるバスの歴史や現状について、興味をもち、自己課題を設定することができる。
- ・聞き取り調査などの活動を通して、自己課題の解決に必要な情報を収集することができる。
- ・バスの良さ、公共交通の良さや今後のあり方について考えを深めることができる。
- ・バスの良さや今後のあり方について、家族への提案にまとめ、発信することができる。

●単元の構成



3. 本時の目標と学習展開

●目標

- ・バスの乗車人数がどんどん減り、赤字路線が多くなる中でも、札幌市が補助金を出して、赤字路線を残そうとしていることを考えることから、未来の自分たちにとっての公共交通のあり方について考えることができる。

●展開

学 習 展 開	教師のかかわり
（前時まで）家族の交通行動について調べ、家族の移動手段が、目的や行き先によって違っていること、バス路線があることが、自家用車を持たない者にとっても、持つ者にとっても大切であることを理解している。 バス路線「白24」 「白24」には、去年、580万円の補助金を出している！ バスが走れば走るほど、損をする！ 札幌市全体のバス乗車人数とバス走行キロ数 札幌市全体でも、似たようなところが たくさんあるね。 去年は、補助金6億4000万円！ どうして、6億4000万円も損をしているのに、 バス路線を残しているのだろう。 だれでも ・自家用車を持たない人でも ・運転できなくなった人も ・体が不自由な人も 札幌市民の 大切な「足」 だからこそ いつでも ・便数がたくさん ・乗り遅れても次の便に ・ どこへでも ・仕事にも ・学校にも ・札幌市のほとんどの ところへ行ける 札幌市全体のバス乗車人数と自動車保有台数 お出かけ調べでは… バスの利用者が 少ない！ このままだと、路線が減っていってしまう！ どうしたらよいのかな。 車とバスを使い分ける！ お家の人に知らせる！ 自分でも バス路線の廃止 札幌市は、市民みんなが、いつでも、どこへでも行けるように、バス路線を残しているんだね。未来に残せるかどうかは、自分たちの行動次第だね。	○バス路線「白24」が 必要性を振り返った 後、昨年度 580 万円 の補助金を出している 事実を提示し、その意 味を問う。 ○札幌市全体のデータを 示すことで、身近なこ とが札幌市全体の問題 であることに気付か せ、問題意識を高める。 ○子どもの考えを「だれ でも」「いつでも」「ど こへでも」という視点 に分けて引き出す。 ○既習の「交通日記」と つなげ、身近な問題と して考えられるように する。 ○子どもの見方や考え方 を確かにするために、 必要な資料を提示し たり、切り返しの発問を したりする。 ○バス乗車人数と自動車 保有台数とお出かけ調 べの結果を関連づけ、 未来の公共交通のため に、自分自身がどうし たらよいか考えるよう にする。

板書計画

11/20

バス路線「白24」

580万円の赤字!!

札幌市全体

札幌市全体のバス乗車人数とバス走行キロ数

4の2 お出かけ調査

バス路線の廃止

南56系統(豊水すすきの駅前～豊平区役所前)は、本日ももちまして運行を終了いたします。長い間、ご利用頂き誠にありがとうございました。株式会社しやうてつ

どうして 6億4千万円の赤字なのに、バス路線を残しているの?

たれでも 車のない人があるし 子でもお年寄りも

どこへでも 仕事に 学校に バスがある

いつでも 本数がたくさん しのれなくも次に

バスは、札幌市民の大切な足だから、残している

未来を決めるのは、私たち!!

家族に知らせる 自分でも...

バスの利用者が 多くなる!

バス路線を残す!

4.本時で活用する資料

●本時で活用する資料

バス乗車人数とバス走行キロ数、
自動車保有台数のグラフ

バス路線廃止に
かかわる写真